

# 令和3年度第10回稲敷・龍ヶ崎地方 3組合経営検討幹部会議会議録

と き 令和3年8月3日(火)

午前10時

ところ 龍ヶ崎地方衛生組合会議室

1 開 会

2 協議事項

(1) 3組合経営検討委員会に向けた作業内容及び役割分担の確認について

(2) その他

3 閉 会

出席者

稲敷地方広域市町村圏事務組合

澁谷 明 宏 事務局長  
斉田 典 祥 事務局次長兼管理課長  
根本 成 壽 管理課長補佐  
坪井 智 彦 管理係長

龍ヶ崎地方塵芥処理組合

小杉 茂 事務局長  
古手 憲 夫 事務局次長  
松本 毅 参事兼施設課長  
岩橋 勇 生 総務課長  
岡野 恵 之 総務課長補佐

龍ヶ崎地方衛生組合

荒井 久仁夫 事務局長  
杉山 晃 事務局次長  
風見 光 三 参事兼総務課長  
木村 哲 施設課長  
浅野 大 樹 総務課主査

傍聴者

椎 名 貢 江戸崎地方衛生土木組合副参事

○風見総務課長 本日はお疲れ様でございます。それでは只今から令和3年度第10回稲敷龍ヶ崎地方三組合経営検討幹部会議を開催致します。協議に入る前に資料の確認を致します。昨日メールで配布した、送信しました資料でございます。まず本日の会議次第が1枚、続きまして出席者名簿、資料1と致しまして、今後のスケジュールという事で11月2日までのスケジュールという事で、資料1としてコピーしております。資料は以上となりますが宜しいでしょうか。

これ以降の進行は荒井局長にお願いしたいと思えます。

○荒井事務局長 はい、それでは早速ですけれども次第に沿って進めて参ります。

協議事項の1です。三組合経営検討委員会に向けた作業内容及び役割分担の確認についてです。先月21日に三組合経営検討委員会が開催されまして、現在の稲敷龍ヶ崎地方三組合の統合複合化新組合設置計画をたたき台として協議を進めることで、構成市町村の合意を貰ったという事でございます。

しかしながら市町村からの意見として、この統合によるメリットを具体的な数字で示して欲しいというご意見、また、ごみ処理の広域化や斎場事務の複合化について将来的な話として進めるにしても、市町村の環境部門にはきちっと説明をして欲しい等のご意見がございました。本日は会議で出された意見等を踏まえまして、次回の9月30日三組合経営検討委員会に向けまして、どの様に作業を進めていくかを改めて確認していきたいと思えます。

確認事項です。2つございます。共通経費の算出、それと市町村の環境部門へのごみ処理、そして斎場担当課への説明についてでございます。共通経費の算出に付きましては使用する基礎データ、この前提条件ですね、これ令和2年度の決算をベースにするのか、令和3年度の予算をベースにするのか。また人件費これをどの様に考えて、この共通のコストの方に反映させるのかさせないのか、それと分担金の算出方法、議会費及び総務費の分賦金割合、そして取手市の分賦金について、この辺をある程度組合の中で合意形成を図りながら数字を出して行く。そしてワーキングの開催日ですね、幹部会議週1回ペースで4月から6月までやった経緯がありますけれども、ワーキングについてもその辺の進め方を考えていかないといけません。そういった事でご協議頂ければと思えます。

それと市町村の環境部門への説明でございますけれども、該当する市町村は牛久市、阿見町、稲敷市、美浦村の市町村ですね、4市町村への説明になります。その際の説明の内容、それと今回同じに担当三組合で割り振りをしていきたいと、そういった事でこの2つの点について協議をお願いしたいと思えます。

まず、共通経費の算出について使用するデータ、これをどうするかという話であります。ベースとなるものこれをどういう風にしていったらいいのか、ご意見等ございましたらお願いします。良いんですよ固く考えないで全然。

○澁谷事務局長 この間の市町村さんとの会議だと、総務部門の経費を令和5年の三組合が統合した時に、幾ら、具体的に幾ら減だろというのが知りたいんだという事なので、まずは数字が出ている今年度の三組合の総務部門の経費を何らかの形で出して、その後に統合複合化した時の内容で人件費なら人件費とか、

経費を比べる作業が必要だと思うので、取り急ぎその稲広の場合は消防と総務部門別れちゃっているので直ぐ出ると思うんですけど、衛生さんと塵芥さんはおそらく総務部門とは分けてはいないと思うので、それをどうするかという事ですね。

○小杉事務局長 あと2年度と3年度ですけれども人員が違うものですから、どっちを使ったら良いというのがちょっと。

○荒井事務局長 現実的な話で説明できる様な、そういうデータをベースにしたいと思うんですけども。予算ベースで良いですかね。

○澁谷事務局長 3年の予算ベースでどうでしょうか。

○小杉事務局長 因みに、岡野さん予算に入っていないんですよ。

○澁谷事務局長 あっ、そうか。

○小杉事務局長 急遽決まったので、これから補正なんですよ、一人分。

○荒井事務局長 ああでも、もう居たものとして。

○小杉事務局長 居たものとして、入れて。

○荒井事務局長 補正で差額の部分、その部分を貰うという事でしょ負担金とした分。だからもう居たものとして。

○小杉事務局長 分担金では貰わないんですけども、契約差金でやりますから。

○荒井事務局長 そこはやりくりできる。

○小杉事務局長 やりくりする。追加分担金は無しです。

○荒井事務局長 来年度は、令和4年度はその分は分担金の中に反映させるという事でいいんですよ。

○小杉事務局長 そうです。

○荒井事務局長 契約差金では来年度は見ないように。契約差金が出るという事は見込めない。

○小杉事務局長 そうです。

○荒井事務局長 そういう事で、令和3年度の予算をベースにするという事で宜しいですか。

○澁谷事務局長 はい。

○小杉事務局長 はい。

○荒井事務局長 何かあります。

○小杉事務局長 無いです。

○荒井事務局長 続けまして人件費の考え方です。令和3年度の予算をベースにやっていきますので、人件費載ってますよね。三組合とも人件費が予算書の方には載っていると思います。それを令和4年5年という事で、これは昇任昇格そういったものが出てきますけれども実際には、ただそこは見込まないで取り敢えず通常通りの4号昇給、そこだけを見ていくという事でいかがでしょうか。

○澁谷事務局長 了解です。

○岡野総務課長補佐 確認です。4号昇給で見てくというのは、令和5年度の合併した時の金額を見越しておく。

○荒井事務局長 4年、5年度も職員の人件費だけね、職員のね。

○岡野総務課長補佐 その比較するのは令和3年度の当初予算と、それでしたら令和5年度の。

- 荒井事務局長 当初予算。
- 岡野総務課長補佐 その比較の時点が違うので、令和5年度合併しなかったら三組合がこうだと言う金額と合併したらこうだと言う金額の方がいいんじゃないかなと思うんですけど。
- 荒井事務局長 合併しなかった場合と。
- 岡野総務課長補佐 令和5年度の高額をこれから弾いて出すとなった場合に、令和3年度の当初予算と令和5年度の想定予算が合併したものでいいんですかね。
- 荒井事務局長 そう合併、まあ同じだよな。そんな感じだよな。
- 岡野総務課長補佐 令和5年度の想定で出すんだったら、令和5年度合併しなかったらこういう分担金です。合併したらこういう分担金で市町村が行けますという方が。
- 荒井事務局長 ああ、分担金の方ね。
- 岡野総務課長補佐 比較するんだったら令和5年度をベースにして、した場合しなかった場合の方が、よりどのくらい下がるか比較が出来るんですけども。
- 荒井事務局長 まあ、今ご意見ありましたけれども、合併した場合、統合した場合しなかった場合、三組合それぞれが残った場合の人員費、統合した場合の人員費、でもし変わるとなると、そこは組織との絡みも出てくるんですけどね。そこまで深追いしながらやるのか、それとも大体の目安として、大体の概算で出しておけばいいのか、その辺の置き所ですよな。そこをどうするかなんです。
- 岡野総務課長補佐 もし令和3年度の当初予算で比較するんだったら、今も直ぐに合併したらこうだよと言う令和3年度と同じで出しておけば金額の比較がし易いと思うんですけど、令和3年度の当初予算、令和5年度で比較しても、人員費も昇給とか見込むので増えてるのがあるので、比較しても人員費が既に食い違ってしまふ状態なのかなと考えます。
- 荒井事務局長 俺は単純に4号昇給全部で、55歳以上はストップだけれども。取り敢えず4号昇給だけ見とけば最低限、それよりは上がりますよという事で、ある程度の目安が出んんじゃないのかな、概算で良いんじゃないのかな。まずは、と思いますけれども。どうですか。
- 小杉事務局長 人員費、5年の4月のした場合としなかった場合の人員費一緒じゃないんですか。
- 岡野総務課長補佐 R3とR5を比較しちゃうと人員費が伸びてるんですよ。合わなくなってしまうので。
- 荒井事務局長 2年間で。
- 小杉事務局長 昇給分が合わないっていう事ですよな、でしょ。
- 岡野総務課長補佐 そうです。4号の見込みでやるのであれば、三組合そのままの状態の金額出てくるので、そこは人事異動で総務部門に行ったりという事で、R5の当初予算で比較した方が純粋な比較になるかと思っております。
- 荒井事務局長 そこで総務費の人員費に、その総務費の人員費として区分する必要があるのかどうか。
- 小杉事務局長 総務部門と施設部門で。
- 荒井事務局長 市町村がそこまで欲しいと思うのかどうか。
- 澁谷事務局長 これきっと、人員費をこのまま組織で誰も退職しないでやったら同じですよな。
- 荒井事務局長 同じ。

○澁谷事務局長 同じ、それを市町村は逆に削減効果を求めているっていう事は、人件費を減らすわけにはいかない、減らす訳にはいかないんで、これあくまで自分の個人の考えとして聞いてもらいたいんですけど、人数一人でも二人でも重複する様な事務を効率よくやって、その結果三組合トータルで丸々人だったのを丸々人にする。それで人件費を落とした方が良くと思うんですよ。

あと物件費系は3つ足せば、突合すると自然と出てくるところもあるので、そんな作りもやるかどうかですよ。これ概算でやるとすれば人件費を一人一人計算してやるよりも、例えば議会对策部門それぞれ何人だったのを3つでやれば1人減らせますよとか、経理部門も2人ずつでやっていて6人だったのを5人でやれるようになりますという事で、結果1人の人件費が減るんでという事になれば市町村納得するんじゃないですかね。ただこれ良いかどうかはこれから議論する必要があるんで。

例えば稲広も2人再任用でやっていきますけれども、それが抜ければ、それでプロパーだけで出来るような組織になれば、2人分の人件費は減りますので、という論理でやるしかないんじゃないかと思うんですよ。

みんな同じで三組合一緒になってもきつと足し算したら同じになっちゃうんで、だから細かく計算して苦勞するよりも、さっき言った施設職員と総務職員の分けは必要だと思うんですけど、令和3年度で衛生さん、塵芥さん、稲広の3つの総務費で何人を、今の金額で見ても良いんで3年度でも、その代わり2人減ればこれだけ減りますので、従って複合化の方がメリットあるよというので良いんじゃないですかね。議員さんに言うのはどうかですけど、市町村さんに説明するんで。

○荒井事務局長 市町村は大体概算で見ると来ると思うんですよ。今の時点では。

○澁谷事務局長 おそらく数字よりもそういうので効果を出すよ。

○荒井事務局長 という事でトータルで。

○小杉事務局長 そうするとワーキングは要らない、やらない。

○澁谷事務局長 ワーキングはでも、そういう打合せやって貰った方がいいかもしれない。金額はどうかのと言われた時に、何もやらないと、ワーキングはワーキングできちっと計算式を出して、これだけの金額というのは自分はやっておいた方が良く思うんですよ。

計算はしてます。でも現実的には金額ってそういうものなので。人数の削減効果を出すという事であれば、それで良いと思うんですよ。

○小杉事務局長 昨日ちょっと話していたんですけども、共通部分で塵芥が5人、衛生さんが5人、稲広さんが7人で考えていると思うんですけど、もともと稲広さんは総務部門しかないんで、稲広さんの分が上がっちゃうんじゃないかなみたいに思ったんですが、総務部門足して、上がりそうな気がするんですが、そういう結論が出たんですけども。

○澁谷事務局長 上がるっていうのは。

○古手事務局長 それぞれの組合に今、総務部門抱えていますけれども。今、総務部門が稲広さんは7名で全てやられていますけれども、塵芥、衛生さんとあるんですけども、一緒になった時に人数が、総務部門のカウントされる人数が17名位になりますね。それに対してのその稲広さんが今7名でやっていたものに対して17名の負担しなければいけないといた様な事があるので、衛生と塵芥においては総務部門に行く部分、施設の方に従事する特別会計の部分の人数が減るんですよ。稲広さんその部分無

いので、丸かぶりになってしまうのではないのかなと考えがあったんですけど、まあちょっと。

○澁谷事務局長 ああ、なるほどね。

○古手事務局次長 私の考えでは、丸かぶりになってしまうと増えちゃうかと。

○小杉事務局長 そうなると分担金出したときに7市町分が多くなっちゃうのかなと。

○坪井管理係長 それって分担金の話で、まだ経費の段階ではそこまで見る部分じゃ無い様な気がするんですよ。

○古手事務局次長 ただ、それがいずれ出てきた時にどうしようとなってしまうのが目に見えているからちょっと悩んでいるのであって。

○坪井管理係長 それはもっと先の話で、おそらく総務部分のものとしてはカウントされるけれど実際の会計上、まあ負担部分にしては、その特別会計の方で見るというのも一つの方法かもしれないし、色んな総務費の中で案分を変えるというのも一つの方法だと思うんですけども。ちょっと細かい話になるんじゃないのかなという気はします。仰っている事はすごく分かるんで、結局特別会計の部分に本来だったら全ての衛生さんの経費、塵芥さんの経費、稲広の経費っていう部分で分けられれば一番分かり易いんですけど、結局稲広は、今、稲広でも結局、総務費というのは独立してます。衛生さんと塵芥さんの部分は特別会計に持ってこれる部分と総務費の共通で持たなきゃいけない部分があるので、その案分の違いがそれぞれの負担の市町村が変わってきちゃうので、その割合を考えると経費の負担部分でちょっと細工をしないと今まで通りの同じ計算では出来ないという事になるんだと思うんです。そこは前から話は出ていたんじゃないかなという気がするんですけども。

○古手事務局次長 当初はそういう様な調整が必要になるというのは分かるんですけども、今度新しい広域組合になった場合に、職員さん採用しますといった場合に果たして何処に貼り付けるのかという所から出てきて、塵芥さんの方の施設じゃなくて、衛生さんの施設の何処に張り付けるかによって、その特別会計に落とすのでは無くて、一応職員さん皆さん一緒になるので、どこに異動するかも分からない状態の時に、新しい職員を採用する場合、その方の負担割合についても決めておかないといけないのかなと思うんですね。それを当初そういう様な融通、例えばそういう様な調整をしてしまうとそれが未来永劫、そのままで行ってしまうとそれもおかしな話になってきてしまうのかなと、確かに当初はそのような形で調整することは必要かもしれないんですけども、その後の方も考えるとちょっと交錯しすぎてしまうのではないのかなと考えます。

○荒井事務局長 色んな前提条件の部分が出てくる訳ですよ。そう言ったものをやはり本来ワーキングチームでそういった部分を担ってもらう。色んな考え方がある、ここまでならこう、そのいくつかのパターンもそれぞれワーキングチームで試算していくという様な事で。

○小杉事務局長 取手への配慮もそれで。

○荒井事務局長 そう、そういった事をちょっとワーキングチームでやって貰いたいなど。

○小杉事務局長 良いんじゃないですかね、富田さんの時にやったみたいに。

○澁谷事務局長 結構あって、数字の所は考え方あれなんですけれども、結論から出すと、市町村は3つの組合にお金出していますよね、例えば3、8、7と。それぞれが恐らく足して減れば良いと思うんですよ。さっきの議論の中で稲広の部分の持ち出しの7が増えても、やっぱり7増えて、取手さんが効果が出ない

っていうのも、出てくる可能性もあるのかな。だけでも7市町村も納得性のある数字だったら納得して貰わないとこれ多分出来ないと思うんですよ。

○荒井事務局長 ですね。

○澁谷事務局長 うん。

○小杉事務局長 納得する数字を出さないと。

○澁谷事務局長 納得する数字、納得する数字にするには色々な方程式をワーキングの方たちに考えて貰って、色んな通りが出来ますから、共通的な経費の部分の均等割りをどのくらいにして、総務費の部分も色んな形でやって行って、削減効果が8市町村に影響しないと多分納得しないんじゃないかと思いますんで、ですから積み上げの金額を出してそれが8市町村が削減できるようなのを考えて頂かないとしょうがないのかなと。

○小杉事務局長 そうですね。

○荒井事務局長 そうですね。まあそういった事で細かな作業、色んな考え方の下での作業になりますけれども、そう言った部分はワーキングの方で。

○澁谷事務局長 そうですね。

○荒井事務局長 という事で、この会議の中ではそこまでという事でしたと思いますけれどもいいですか。

○澁谷事務局長 はい、お願いします。

○古手事務局次長 ワーキングの中では令和5年4月時点での、今言った様な、統合しなかった場合と統合した場合の差を出すのと、何を出すのかというのをちょっと明確にしておきたいんですけども。色々なものを出してくれと言うのは分かるんですけども、何に対しての目標とする数字を出すのかが明確に、私は明確にならなかったんで、何に対してどういう数字を用意しろといった指示を頂ければ動きやすいんですけども。ワーキングの中でそう言った物を決めてくれと言われてしまうとなかなか、またバラバラになってしまう部分もあるんで。

○小杉事務局長 5年4月に統合した時の分担金が上がらないように色んな算出をして、色んな方法で案を出して行く。

○荒井事務局長 それで、これ統合の在り方とも関係してくるんですけども、現時点では現実的な話として稲広さんに吸収されると言うパターンで持って行った方が良いと思っているんですよ。新たな組合を作るという様な事では無くて、取り敢えず、で稲広さんの分賦金割合ありますけれども、それを前提にしてやった場合のこうなりますよね、それだと削減効果が出ないといことであればじゃあこの部分、何て言うんでしょうね、人口割の部分のこうしましょうとか、均等割の部分のこうしましょうとか、そう言った色んな要素があると思うんですけども、その部分を工夫して頂いて市町村から不満の出ないそういった算出の在り方というものを探して頂く、いきなり結論出すというのは難しいと思うんですよ。取り敢えずこういう案、パターンで行くところ様な事になりますと、そう言う経費というものをいくつか、何通りか出して頂くだけでも違うと思うので、そう言ったやり方で出来ないかと思うんですけども。

○古手事務局次長 それは総務共通経費の部分だけのお話ですか。

○荒井事務局長 いえいえ。



○古手事務局次長 トータルですか。

○荒井事務局長 トータル。施設の方もありますので、衛生組合は単純で均等割と実績割95、ただそれだけ。その辺は踏襲しつつということになると思うんですね。塵芥の方も施設部門の負担金は、これも同じ分賦金割合、それが踏襲されるのかなと思いますけれども。

それが三組合で統合出来なかった場合、という事になってもその部分は変わらないですよ。変わらないですよ。今まで通りですよ。施設部門は問題ない、とにかく総務費、議会と総務、その二つの経費だけなので。

○澁谷事務局長 歳出をちょっと分析するという事でどうですかね。ワーキングで、第一段階。どう言う事かという、まず総務費を作って貰って塵芥さんにも、施設の方と先ほどの5名、5名の方のそれをそんなに時間かかんないと思うので、その人件費を出して貰って、それで明らかに議会運営とか経費とかそういう費用も分けて貰って、歳出の部分を出して貰って総務費的というものを、施設費的なものと総務部門、衛生さんのそれとうちの消防を分けた総務費を足すと3つが重なると、3つが重なると先ほどのとおり17名の人件費等の金額が出るので、そこから今度はそれぞれの3つのやつの負担割合が先ほどの実績割とか均等割とかあるんで、それをまた分析してこれをまた積んでいって貰って、やってみて現実を知ると。

それで、減らすという事はきっと人を減らさないと減らないと思うんですよ。ですからそれを再任用職員はそれまでで終わったらもう増やさないでマイナス1とかマイナス2とかで頑張るという事であれば一千万くらいの効果を出せば市町村は納得するんじゃないかと思うので、その前段としてワーキングの方たちに、総務費を総額出したもので色分けをしてもらうというか、その第一段階でどうでしょか。

その後には今度は入りの方、歳入、歳出に対しての歳入を今の現在のものと三組合でやったものを作って、それで今度ゴールすべき5年の4月1日とその次に最後として作ってみると。

取り敢えず令和3年度の当初予算で分析して、架空ですけれども塵芥さんの方でも総務費的なものと施設費的なものを分けて貰ってというのでどうでしょう。それで施設費的なものは固定費になりますからね。これはちょっと減らせないと。

○荒井事務局長 とにかく組織なんかもプロパー職員で進めて配置するというのが前提になっているんで、理屈は今の局長、澁谷さんの話で整合取ってると思うんですよ。再任用、私もそうですけれども3人これは5年の時にはもう居ませんよという前提で出すのも良いんだと思うんですけど。全てプロパー職員で担う。

○澁谷事務局長 ずるいかもしれないんですけど、今、岡野さんが市役所から来てくれてるし、うちも山口君が来てくれてる、その3年にやっている金額があるじゃないですか。だけど今度5年の4月1日には再任用職員は取り敢えず抜いた形で算出して貰うと。算出すると。それでこの3人抜けた形で動かすことが可能と判断して5年4月から統合複合してやりましょうというのでやると、再任用者の3名分の人件費をカットすれば多分行けると思うんですよ。それをきちっと総務費とあれを分けて頂いてやれば良いのかなと思うんですよ。

○荒井事務局長 どうですか、今ので。

○小杉事務局長 それで良いと思います。

○岡野総務課長補佐 すみません、それで一点質問、疑問なんですけれども、新しい組織の令和5年度というのは、この間の会議では再任用者を見るという前提で事務局長クラス二人、プロジェクトの方にも居るんですけれども、今の話で再任用居ない形になると、これで出すとこっちとの整合が取れないと思います。

○小杉事務局長 そうですね。

○澁谷事務局長 うん、こっちの話ね。だからこっちはたたきなので、そのままスライドした金額をAにするじゃないですか、それから3人抜けたのをAダッシュにして、それで三組合でやったものをXとかにすれば、Xに対してAはこの金額、Aダッシュはこの金額でやって、それでこれはこれで作ったけれども、削減効果を出すためには抜ける形で行ったらどうかと投げたらどうですかね。これはこれで順守して。

だからあくまでも残る形も作るっていう事ですよ。それでAで行くけども、Aダッシュにしたら削減効果が大きいのでとやれば良いと思うんですよ。これも示しているで。言っていることは分かります。言っていることは分かるんですけれども、ただ、この間の21日の会議では削減効果を出さないと納得しないと思うんですよ、市町村は。それでその意見を踏まえた上で、さっき言った再任用者をプロパーだけでやるAダッシュの考え方も整理しましたのでどうでしょかと投げれば、その方が良いんじゃないのという事で年度末の最後の製本には再任用者は除きにすれば良いんじゃないですかね。

○荒井事務局長 取り敢えず市町村にはそれで説明して。

○澁谷事務局長 説明。でないと、このまま行ったら多分減らないんですよ。減らないと折角ここまで進めてきたのが、もうみんな賛成してくれないんで削減効果を重視するとやはりプロパー職員だけで対応する様にしますと。という事と思いついた形でたたきには再任用者も登用しますが、再任用者はどうします、まあそこから先の話はまあ内側からじゃないと考えると、多分自分の考えではこのままやったら減らないので、無理だと思うんですよ。

○荒井事務局長 減らすにはもうこういう。

○澁谷事務局長 そういう。

○荒井事務局長 努力が必要になってきますと市町村に伝えるべきかと。

○澁谷事務局長 だからこの通りの組織で。

○荒井事務局長 そういう作りになっていますけれども、そういう風に努力していかないと。

○澁谷事務局長 ここは柔軟性で行った方が良いのかなと思いますよ。

○荒井事務局長 採用から、将来に向けた採用を減らしていきますと。こういう風には書いてありますけれども、一人減らすだけで生涯賃金2億違いますから。

○古手事務局次長 すみません、一つ宜しいですか。いまのお話、澁谷局長の分かるので、逆に人件費たかない方が良いんじゃないのかなと思うんですけれども。

○荒井事務局長 えっ。

○古手事務局次長 たたかない方が良いんじゃないのかなと思うんですけれども。と言っているのは稲広さんの7名、仮に稲広さんの7名が総務入ります、塵芥から5名、衛生から5名入りましたとなった場合に、稲広さんの人件費を抑えるっていう事は7名の金額より上を行ってはいけないという事ですよ。そうすると残りの5名、5名に対しては衛生と塵芥で負担しないといけないとなると、変わらないと思うんです。

よ。変わってくるのは物件費だけであって、共通部分の、そこでまあ財務会計とか簡単な部分でしか試算しづらいんじゃないのかなと私個人的な思いがあるんですよ。

そういう様なものを細かくやったとしても衛生さん、稲広さん、塵芥でそれぞれ今の負担を超えてはならないよと言う様な前提があるのであれば、そこを超える、同じなんじゃないのかなと思うんですけども。

○荒井事務局長 そこはちょっと実際やってみないと分かんないでしょう。

○古手事務局長 やってみないと分からないですよ。そこで今言ったように17名に対して、稲広さん7名だったのに増えてしまった場合はその部分100パーセントの部分しかないのでも総務部門100パーセントの部分しかないのと言うお話の中で考えると、やはりやってみないと分からないんですけど、やって負担割合を融通する様な事があれば、衛生と塵芥にその分は掛かってくるので、ちょっとあれですかね、やっぱやってみないと分からないですかね。

○荒井事務局長 あとはちょっとやってみないと、あとは短期的にそういうコストメリットが出なければ将来的に採用も調整して、事務局的には必ず人件費の部分でもコストメリットを上げて行きますよという様な説明。

○古手事務局長 それはすごい仰る通りだと思うんですよ。

○澁谷事務局長 いいですかちょっと。おそらくですけどもそのプロパーだけでやるっていう論法を立てないと、このまま行くといった時にはこの話は市町村から見た時に、なんだ意味ないんじゃないかと。市町村の方ちょっと露骨な言い方をすれば出すのだけ減れば良いという考えになると思うんですよ。

だって自分もそうだったら持ち出し少なくするっていうのが、散々稲広もやって消防でやったので、取り敢えず出すの抑えてくれと、大変なんで、それでこのたたきの部分で行った時にこうなりますというのを荒井局長が言う様に額は数字出すしかないんですよ、このたたきの部分。その代わりプロパー職員だけでいったらガクッとこんだけちょっとでも下がりますと、ですからこれを選択しますという事でどうですか。

○古手事務局長 人数減に伴う減額だよというものを、それはその組織がこういうものに1個になってそれだけの人数を整理できるよという様な事が前提の話ですよ。

○澁谷事務局長 その論理は例えば議会対策とか、そういう部分も議会対策した方がいいのか、議会事務とか管理者、議会事務も今までそれぞれ1人ずつやっていたとして、3人を2人にしますという1名の効果、それから経理部門も、うちは3人で塵芥さんだから7人でやっていたものを6名で出来るようになります。従ってトータルで2名減らすと令和5年4月からプロパー職員だけでも対応できることになったので削減効果で人件費2名分の再任用2名分の効果がありますよ。

それで昇給とかそれはどんな形になっても一緒じゃないですか。だからそこは別に無論ここには入れる必要無いんじゃないですか、ザックリでいいと思うんですけど。ただ金額はキッチリ出してみるというのも1つ、相手に伝える時にやはり金額で、何円が何円になりますという言葉だけで言っただけで算出したという立証にもなりますから。そこはやった方がいいのかなとは思うんですけど。

○荒井事務局長 一応出しておいた方が良く思う。

○小杉事務局長 自分も見当つかないですもんね、数十万なのか数百万なのか数千万なのか。

○荒井事務局長 憶測では市町村は何だよっていう話になっちゃうから。

○澁谷事務局長 最終的に総務費が出た時に衛生さんからの8市町村割、うちの7市町村割、塵芥さんの3市町村割なんか合算しちゃうわけじゃないですか。

そこで論理的にみんなが納得する各8市町村が納得するような負担割合を考えていくっていうのが当然次の作業になりますね。ここらもやっぱり何通りも考えないと、うちもずっと消防費の負担割合は散々ズット来て、3回くらい変えてるのかな、確か。基準財政需要額割から人口均等割になって、それから職員配置と基準財政だから3回くらい変わった時も、やっぱり同じ論理なんです。歳出を考えて市町村の負担を考えてというのが前提なので、この歳出を計算しないとイケないので、今回もまさに総務費の削減を出すためにはやっぱり金額を出して、それで一回歳出の部分をやってみると。それでさっき言ったブローパーでやるとこれだけ出ると。

その後に今度は8市町村が納得する負担割合を次にみんなで考えて行くという事だと思うんですけど。でやっぱりそれを何本か作って、必ずそこの条件は2名位削減した効果を8市町村に少しは凸凹があっても、ある程度効果を出すよという事になると思うんですけど。

ですから第一段階では歳出の部分の本年度の総務費とされる17名分の積み上げて、それで令和5年を架空した時にマイナス2で良いよと、マイナス3で良いよといったそこら辺を作って対比するという事かどうか、一旦は。

○古手事務局次長 一旦は、はい。

○澁谷事務局長 それでまた考え直すと。

○小杉事務局長 思う事は言った方が良いよ。

○澁谷事務局長 こっちね、そうそう。これのやつ組織図とかで人数とか出てるのは、これ市町村にするとなたきなので、さっき言ったようにXとAでしたら、Aは作る、でもAダッシュで、効果が見られないのでこのままでは、Aダッシュで行きますというのは別に良いんじゃないのかな。

○荒井事務局長 良いと思いますね。

○澁谷事務局長 良いですよ。

○荒井事務局長 あくまでもたたき台ですから。

○澁谷事務局長 それで計画の時は、そこを岡野さんに整理してもらって、こう決めましたというのを最終の管理者会議でゴ貫えれば良いんじゃないかな。

○古手事務局次長 何かある。

○岡野総務課長補佐 ちょっと整理しますと、R5の時点で数字をまず算出するというのは間違いないですね。その時に人件費は4号ずつ増えたやつで。それ以外のこちらの塵芥の方のごみ処理に関するといったのは固定費としてR3当初予算の金額を使うという事になりますよね。衛生の予算もそうですけれども、人件費以外はR3当初予算を使う、R5は伸びる人件費とR3当初予算を足したものをR5の金額としてまず見る、でいいですか。

そうになったら三組合それぞれ存在したとして、各市町村の分担金をその時点でまず出すことは出来るんですよ。龍ヶ崎だと3つの組合の足した金額がこの位です。

今度はそれとは別で合併した場合の予算も同じように組んで、組み換えもやって、龍ヶ崎ですと3つ足

した金額と1つの組合になった時の金額がマイナスになっていけば、他の市町村もそうでしょうけれども理解がし易いんじゃないか、出来るんじゃないかという考えですよ。

○荒井事務局長 少しでも下がっていれば。

○岡野総務課長補佐 その時の出し方さっきみたく、パターン1、パターン2とパターンどのくらい出来るか分からないですけども、いくつかの前提条件を作ってそのパターンに合わせて想定される予算を数字を作ると。

さっきのやつ再任用者そのままいるとしたらこの位の金額ですよ、居なくなったらこうですよと言うパターンを幾つか作ると。こちら基本的にはフルコストで比較すると言いう事で良いんですよ。

○荒井事務局長 うん、フルで。

○岡野総務課長補佐 自分の市町村が持ち出しが減るのかっていうのが、市町村が知りたい。

○荒井事務局長 トータルでどうなの、分担金。どれだけ減らしてくれんの、それが市町村だから。

○岡野総務課長補佐 その時今度こっちで合併した場合って見る時なんですけれども、こういった組織の中で、見る時にワーキングでの作業になりますけれども、誰さんは元塵芥だ、衛生だ、稲広だと言ってそこで割り振って見た時におかしいですよ。

○荒井事務局長 いやあそこまでは難しいな。

○岡野総務課長補佐 そうでないで総務課の方は全部稲広でとなくなってしまくとぐちゃぐちゃになっちゃうので。その作業というのはこの人は元どこどこ組合だからそこで見てくのか分担金を。

○古手事務局長 多分こういう話で前のワーキングもあれだったんですけども。

○澁谷事務局長 これはね。

○古手事務局長 黒田さんすごい苦労されていたんですよこの話で。

○坪井管理係長 そこがこの経費のパターンじゃないですか。

○澁谷事務局長 そうだよ。

○坪井管理係長 結局最終的にはそれを総務の面で見ないとこの統合する意味合いって無くなっちゃうので、統合した時点で仮に稲広ルールで案分した場合どういう形になるか、いやこれじゃ稲広に該当してる所ばかり上がっちゃうから、他の所のメリットを考えてあげると、じゃ塵芥さんの3しかない所をもっと考慮しなければいけないのかとかそういうのってやっぱ出てくると思うんですよ。

で、結局そればかりやっちゃうと形が決まらなくなるんで、1回ではピタッと決まらないんじゃないかと思うんです。あくまで広域化段階での削減したものを、さっき局長が言った様に全市町村にメリットを活かせる様なこの分担金に在り方を考えるっていうのも一つの方法だとは思いうんですよ。それを将来的にもっと人員的な整理がなっていった最終的な統合時の理想的な形になった段階でどういう風になっているかっていうのを、段階的に考えるっていうのはこれ必要になってくるとは思うんですよ。

そうすると色んなパターンで試算をしていって均等を多く使うとか、逆に減らすとか、3つの組合に関与している所にはちょっと手厚く負担してもらい様な方法も考えとか、色んなパターンが出来てくると思います。ちょっと具体的なパターンをここで掲げることはまだ出来ないですけども。

○荒井事務局長 段階を踏んでやっていければなど。いきなり100は出ませんので。

○澁谷事務局長 ちょっと難しいと思うんですよ。

○荒井事務局長 要は試行錯誤しながら、市町村が納得できるようなそういう負担割合に持って行ける様にそれはワーキングの方でお願いしたいと思います。色々議論する事がありましたけれども良いですか、今の考え方で。

○古手事務局次長 取り敢えずやってみるという事で。

○小杉事務局長 そうそう。

○澁谷事務局長 それで削減効果を出すための知恵を出すという事で。

○古手事務局次長 型にはめようとしちゃっているのですが、どうしても先を見ちゃうのであれですけども、取り敢えずやってみるという事で対応してみます。

○澁谷事務局長 やっぱり減らすには、人を一人でも二人でも少なくしますって言わないと多分難しいのかなと。

○荒井事務局長 人件費は人を減らす事ですから。その簡単に考えれば。人減らせば減りますから。で、分担金にもその分反映できると。

○澁谷事務局長 あとは私と斎田さんで頼んでね、年金までは何か使って下さいと。多分別枠にしておけばそうなると思うんですよ。

○古手事務局次長 5年の人件費は出してるよね。だから結構データ揃っていると思うので。

○荒井事務局長 ああそうなんだ。

○小杉事務局長 山口さんどちらで。

○澁谷事務局長 山口さんはうちの方に入って無いから、そっちで入れてもらって良いと思うんですよ。

○小杉事務局長 うちで。

○澁谷事務局長 研修で来てるんでという事なんで、それも人数に入れておいた方が、大きい数字の方が良いわけなので、絶対に。

○荒井事務局長 では、取り敢えずその様な形でお願いします。人件費の考え方、あと分担金の算出方法を色々試行錯誤しながら良い数字が出る様にワーキングの方で作業をして頂くという事でお願いします。そのワーキングなんですけれども、その開催日というものを決めておきたいなと思っております。

私の方からの提案ですけども、取り敢えず機械的に毎週火曜日、火曜日でちょっと9月の経営検討委員会30日の経営検討委員会までは、特に重なるそういった行事は入って来ないと思ってます。という事で次回来週、早ければ来週の10日火曜日からワーキングの作業を始めたいと思います。それで毎週火曜日、と言う基本的な開催日です。で、その進展によっては毎週火曜日やる必要も無くなると思いますので、その辺はワーキングの中で決めて頂くという事でお願いしようと思っておりますけどいかがでしょうか。

○澁谷事務局長 はい。

○小杉事務局長 はい。

○荒井事務局長 では、毎週火曜日という事でお願いします。

○小杉事務局長 時間ですが、同じ午前10時が良いと思うんですけどどうでしょうか。

○澁谷事務局長 意義は無いです。

○荒井事務局長 大丈夫です。

○小杉事務局長 すみません、お願いします。

- 荒井事務局長 火曜日の10時。
- 風見総務課長 場所は。
- 荒井事務局長 場所は。
- 小杉事務局長 場所はどちらでも。
- 澁谷事務局長 どちらでも。
- 小杉事務局長 委員長決めてください。
- 荒井事務局長 じゃあここにしますか。ここの二階の会議室。
- 澁谷事務局長 じゃ衛生さんでお願いします。
- 荒井事務局長 はい、続きまして市町村の環境部門への説明です。これは今日配った予定表の方にも入っているよね。風見課長の方から。
- 風見総務課長 はい、それでは資料1の方をご覧頂きたいと思います。この中で1ページ目の中段、8月の4日の水曜日13時30分からという事で、取り敢えず牛久市さんの方へまず初っ端ですね、最初に説明する日程の調整を行いました。これは先日、牛久市の正副議長さんへ説明しに行った際にですね、ごみの担当廃棄物対策課さんの方と、斎場の方の担当である環境政策課、そちらの方へちょっと寄らせて頂きまして、少し説明をさせて頂きたいという事で日程の調整をしました。そこでたまたま部長さん、環境経済部長さんがいらっしゃって一緒に話を聞いていただけるという事でしたので、この件は調整を行ったというところでございます。
- これ以外先ほどありましたが阿見町さん、稲敷さん、美浦村さんにも同じような形で説明をしに行きたいなと思うんですが、まずは牛久市さんから順番に出来ればと思います。
- 荒井事務局長 はい、牛久市が取り敢えず8月8日で決まりましたので、次に残っているのが阿見、稲敷、美浦村です。ここを分担して行ければ良いなと思っているんですが。
- 小杉事務局長 すみません、明日、うちなんか行くって言ってましたよね。
- 風見総務課長 それで、すみません、分担の話をしようとは思っていたんですが、まず今回アポ、衛生の方で取りましたので、局長と私で行こうとは思っています。それで塵芥さんの方をお願いを話した時に、明日別件があるということだったので、分担して来て頂けるという事でしたので、松本課長。
- 荒井事務局長 でちょっとそういう話もあるんだけど、この間牛久市説明に行った時に大分やっぱりね、理想は分かるんだけどちょっと牛久としてはちょっと厳しいですね。理想は分かるんだけども広域化のそう言った部分、だいぶちょっと副市長さん、滝本さんと話して来たんですけどもそういう言葉が出て来たので、やっぱね地元住民への配慮の事も言ってましたし、新聞の記事の事も言ってましたね。あれ以上の事出されたらちょっと大変だったという様な事も含みを持たせて言ってました。
- という事で、牛久市に関してはちょっと大人数で行くというよりも、取り敢えず今の時点では課長の方への説明という事だけで、まあ、私の方で、衛生組合だけで行って来て、なんか背景とか昔からの歴史があるのか、そういった所をちょっと少しでも話聞ければ、言ってくれば。
- 小杉事務局長 そうですか、という事はうちは行かないという事ですね。
- 荒井事務局長 うん。
- 小杉事務局長 それとですね、うちの岡野さんが古い資料全部ひっくり返して、牛久が抜けた経緯を作

ってくれたんですよ。

○荒井事務局長 うん、これだよこれ。言われたんですよ滝本さんに、うちの方の事情分かっておいた方が良いよって。なんか奥が深そうでさ。

○小杉事務局長 それで明日行くつもりだったのでこれを持って行こうかと思っていたんです。

○荒井事務局長 ああ。

○小杉事務局長 そうするといいです、いいです。

○荒井事務局長 向こうも今行くと、余計構えてという様な話にもなるんですけど。ちょっと明日は二人位で行ってきますから。

○小杉事務局長 分かりました。そうするとその他の3つを。

○澁谷事務局長 これ、稲敷と美浦、まず議会関係うちなんで、役所の方も立ち会うので、取り敢えず聞いてみます。それで良いですか。それで美浦村さんに至っては幹部、村長以下全員一緒に説明聞く聞くことになるんで。

○荒井事務局長 えっ、村長以下。

○澁谷事務局長 村長以下全員聞くらしいですよ、概要版。村長は一回聞いてますよと言ったんです。

○荒井事務局長 聞いているはずだよね。

○澁谷事務局長 ええ、そう言われています、菅野さんから。なので美浦村の場合は課長さんが、担当課長さんと担当部長さんも入っちゃうんで、その時点で8月の23日に予定しているんですけど、議員全員、この予定にも入っています。なので終わっちゃうのかな、環境部門も一発で。

なんかちょっと大袈裟なのになっちゃってしまして。あそこ議会と執行部が密着しているので、それで村長はどちらかというところごみの広域化は推進派なので、牛久さんみたいな事情は無いと思うので、それもある位で終わるレベルだと思うんですよ、村長さん。まあ個別にも話したことがありますけれども。

で、問題は稲敷市なんですけど、稲敷市は今日午後正副議長さん会議で部長さんも入るのでちょっと投げてみますから、環境部門に。必要があれば稲敷広域でやります。

○荒井事務局長 そうですか。

○澁谷事務局長 行って頂ければ有難いですけど、自分らで良いですよ。このたたきの説明ですよ。

○荒井事務局長 そうそうそうそう。まあ質疑もそれなりに出てくると思うんですけど。

○澁谷事務局長 じゃ、荒井委員長に行ってもらった方が良さそう。要求された場合。

○荒井事務局長 私行きますから。

○澁谷事務局長 了解しました。で、美浦村は良いですか、そういう事情なので。これは説明しないですけど、おそらく横つながりが出来ているので、菅野課長さんがこうやっているんで、なんかそういう雰囲気なんです。ですからここで日程を組んで荒井局長に行ってもらうまでも無いのかなという感じなんですけど。取り敢えず聞いてみてあれなんですけど、そこで足りるような気がしますね。で、稲敷市は確認します。今日午後。

○荒井事務局長 はい、じゃ連絡下さい。

○澁谷事務局長 委員長の方で、荒井局長の方でちょっと説明に行きたいよと、で言いますから牛久市にも説明するんでという事で。



- 荒井事務局長 牛久、阿見、阿見は全協だもんな。
- 風見総務課長 そうです、はい。
- 荒井事務局長 全協なんです。全協で説明するしかないのです。
- 澁谷事務局長 全協やって。
- 荒井事務局長 その後、担当だな。
- 風見総務課長 まだちょっとそこは取って無いのでこれからなんですけど。
- 澁谷事務局長 ですよ。
- 荒井事務局長 担当としては牛久、阿見はうちの方で、美浦、稲敷ですね。
- 澁谷事務局長 そうですね。稲敷さんと美浦さんは結構横での連携も出来てる様なので、江戸崎衛生土木の絡みで、おそらく。だからさほどでも無いと思うので取り敢えず今日聞いてみます。
- 23日に行った時に美浦村は説明した時に、おそらくこれ見てると思うので、良いよという話になると  
思います、部長さんらは。ですから事前にちょっとやってこの部分についてはどうでしょうか聞いて聞  
きますから。
- 荒井事務局長 私が行く場合は質疑の事と。
- 澁谷事務局長 話しします。
- 荒井事務局長 そうすると塵芥さんは何もしないで。
- 小杉事務局長 無いですね、すみません。お願いします。
- 荒井事務局長 阿見も今からだよ。
- 風見総務課長 そうです。
- 澁谷事務局長 稲敷市、美浦は取り敢えず保留で。美浦村はおそらく概要見てこちらは書類で見たから  
いいよとなるんだろうと思いますけど聞いてみます。稲敷市は午後行った時に聞いてみます。
- 荒井事務局長 今日正副議長さん。
- 澁谷事務局長 正副議長です。
- 荒井事務局長 そうですよ。分かりました。
- 風見総務課長 説明する内容というのは基本的には概要、正副議長と同じ内容。
- 荒井事務局長 同じ。
- 澁谷事務局長 同じですね、はい。だから実質説明しちゃう形になっちゃうんですよ美浦村は幹部全員  
なんで。
- 荒井事務局長 そうですね、まとまり良いですね。
- 澁谷事務局長 だから20何人なんだよな。
- 坪井管理係長 そうですね、はい。
- 澁谷事務局長 議員と課長以上なんで、村長も入って。
- 荒井事務局長 分かりました、そういう事でちょっと大変でも。
- 澁谷事務局長 ご連絡します。今日の結果。
- 荒井事務局長 あと環境部門への説明についてはそう決まりました。あと何かございますか。
- 岡野総務課長補佐 いいですか。冊子の方で修正したいと考えてます。先程の話で冊子の方だと44ペ

一で35人を維持するっていう考えでの決め方なんですけれども、これは将来的に人数1人でも2人でも減る様な形の方が人件費の減になっているので、いまのこちらの資料冊子だと35人を維持するっていう話での前提になっているので、そちらの表現の方はちょっとこれから変えたいなと思っています。それができればメリットの一つにも、将来的な人件費の抑制となるのでそういう箇所を部分部分修正したいなと考えております。

○荒井事務局長 それは岡野補佐にお任せして良いですか。

○澁谷事務局長 お願いします。

○小杉事務局長 ここで了解を頂こうと思っていたので。

○荒井事務局長 分かりました。

○澁谷事務局長 ここしかないと思うんです。

○荒井事務局長 そこで人件費宜しくをお願いします。はい、その他ありますか。

○岡野総務課長補佐 あとはワーキング来週の火曜日にやるに当たって、事前にこういったものは用意して置くというのも出来れば決めた方が良いと思いますけれども。例えばさっき言ったR5の当初予算あらあでも各自出して持ってくるとか。

前もやった人件費の地域手当の金額、出した数字があれば、R5に予想される人件費とR3年度の固定費と言われるところを足したのがR5のそれぞれの3つの組合の予算ですよ、それに対して市町村の分担金がこうですよと言うのがあれば、それを基に打合せしていけるというワーキングの中での話がよりし易いかなと。もし可能であればそういうものを用意した上で来週の火曜日ワーキングスタート出来ればベストだと思うんですけれども。

○澁谷事務局長 どうですか、横で連絡とって貰って、何処かにデータを送るっていうのでどうですか。

○荒井事務局長 誰が中心になるのか。うちの方は風見課長と木村課長と浅野入ってんだっけ、3人。

○古手事務局長 うちの方は私と岩橋さんと岡野さん。

○澁谷事務局長 うち根本さんと坪井さんで。

○小杉事務局長 一番年上誰ですか。

○荒井事務局長 一番年上で、取り敢えず。

という事で、責任者今決まったと思いますので、一番年長者。ワーキングで選出された方のそれぞれの三組合の一番年長者で連絡取り合ってその辺の資料の準備とか。

○澁谷事務局長 データをどこか集めた方がいいですよ。

○荒井事務局長 そういうのを決めてもらうという事で。

○古手事務局長 塵芥と衛生さんは総務と施設で分けるという作業もできたらそこもやっておいた方が。

○澁谷事務局長 ちょっと間に合わなければしょうがないですけれども、それやらなければいけない事なので。やらないと見せられない。

○荒井事務局長 市町村との約束破る事になりますから。

○澁谷事務局長 ですから30日でしたっけ、9月の。あの時にはなんとか。

○荒井事務局長 あと何か。

○小杉事務局長 確認一つ宜しいですか。9月30日の経営検討委員会、ここはごみ斎場の担当課長も入るので良いですよ。

○澁谷事務局長 そう。

○小杉事務局長 ごめんなさい。書いてありました確認でした。すみません。

○岡野総務課長補佐 そこで議題の中で構成市町村の議会への説明の顛末とあるので、これも三組合でそれぞれ別々で持ち回りで説明している内容を、あとで合体させたものを出すという事で宜しいですか。

○荒井事務局長 そうです。宜しいですよ。それは三組合の経営検討委員会でも報告するしかないと思っておりますし、管理者等会議にも報告するしかないと思っておりますので、それぞれ持ち分として回った所の顛末についてはまとめると、各組合毎でまとめておくという事でお願いします。

○小杉事務局長 まとめたものを一つにまとめるという事ですよ。

○岡野総務課長補佐 9月30日に共通経費の削減をここで出すと思うんですけど、10月11日の管理者会議でも共通経費の削減は出すという考えでいいですよ。

○荒井事務局長 同じようにこれは出すと。

○岡野総務課長補佐 書いては無いですけど、(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)までには書いてないですけど、これも出すとう考えで良いですか。

○荒井事務局長 出しましょう。

○岡野総務課長補佐 はい。

あと10月11日で管理者会議で、(3)統合の手法、(4)財産処分、(5)新組合の事務所、(6)新組合の名称とか、ということはどこかの幹部会議とか事前協議とかと言うのは。

○荒井事務局長 ええ、その辺は7日、10月の7日に設定したいと思いますけどどうですか。

○澁谷事務局長 はい。

○古手事務局次長 7日予定あるので駄目です。

○小杉事務局長 あるよね。

○岡野総務課長補佐 7日不在ですので。

○荒井事務局長 7日なんかあんの。

○小杉事務局長 岡野さん不在なんですよ。

○古手事務局次長 7日は。

○岡野総務課長補佐 静かな会議になると思いますので。

○古手事務局次長 丁度いいと言う。

○荒井事務局長 ああそうか、7日居ないんだ。

○風見総務課長 資料1なんですけれど、これこちらで幾つか幹部会議の日程を勝手にと言ったらあれですけども、予定いれてしまっているのも、もしこれ都合悪いとか時間を午後を午前にして頂きたいとかと言う話があれば事前に仰って下さい。これはこちらで勝手に入れちゃっていますので。

○小杉事務局長 申し訳ありません、そうしたら7日を変更は可能ですか。

○荒井事務局長 可能です。

○小杉事務局長 それで6日がちょっと地元説明会があるものですから。

- 荒井事務局長 地元って言うのは何。
- 小杉事務局長 地元説明会、板橋地区。
- 荒井事務局長 板橋地区の環境組合。
- 小杉事務局長 住民です。住民説明会。
- 荒井事務局長 何を説明するの。
- 小杉事務局長 指定廃棄物置いてありますよね。
- 荒井事務局長 ああ、あれね。
- 小杉事務局長 環境省と県が来て説明、進捗の説明を行う。それが6日に今日決まったんですけども。
- 荒井事務局長 今日入ったんだ。
- 荒井事務局長 30日に、9月の30日に経営検討委員会三組合の、ちょっと間空けようかなと思ったんですけど、それで取り敢えず7日入れましたけれど、8日はどうなんですか。
- 古手事務局長次長 7、8日でちょっと。
- 小杉事務局長 8日も駄目なんだ、7、8居ないそうです。ごめんなさい。
- 荒井事務局長 それで6日が説明会。
- 小杉事務局長 そうです。夜なんですけれども準備とか色々あるものですから。申し訳ないですけどその日は、はい。
- 荒井事務局長 そうしたら必然的に事前に集まるという事であれば、4か5しかないですね、では5日。もう時間が間2日位しかないですけど、それまでに案をそれぞれ持ち寄るという事でいいですか。
- 澁谷事務局長 はい。
- 荒井事務局長 じゃ、10月の5日火曜日14時。
- 小杉事務局長 申し訳ありません。
- 荒井事務局長 いえいえ。
- 澁谷事務局長 5日ですね。7日が5日、はい。
- 荒井事務局長 で、すみませんまた先の話で。11月です。11月に、衛生組合10月中に議会があるのでその前に全員協議会も10月20日、議会が10月29日でもう終わっちゃいますが、全員協議会でも中間報告出来るところは報告していきたいなと思っています。
- 11月に入りますと塵芥組合の定例会が8日月曜日、稲広組合の定例会が16日火曜日という事で、同じ様に中間報告出来るものはして頂きたいなと思っております。三組合の議員さんだけになりますけれども。
- 岡野総務課長補佐 中間報告で使う資料というのはどういったものを。
- 荒井事務局長 この時点ではまあ古い情報になっちゃうかもしれないんですけど、市町村議会のみんな全協で同じ議員さん同士で話が全部通ってればいいですけど、この間取手市行っても牛久市行っても正副議長さん話聞いてないって言うんですよね。組合に来てんだけどその人からは全然情報貰ってない、そういう事もあるんで、取り敢えず同じ報告になるかもしれないんですけど、正副議長さんへの説明で顛末とか、あとは9月30日の経営検討委員会の顛末とかそういった所。あとは修正等、この時点で、11月の時点で予定されているならばそういった所も話しておくとか、当然その前に管理者等会議を衛生組合

の方でやっていますので、10月の11日かな。

○岡野総務課長補佐 前の話だと、冊子の方のスケジュールだと10月11日に管理者会議があつて、この冊子の中間報告をしたら、その冊子を以て三組合の議会の方へ同じように中間報告をするっていう決定だったので、管理者会議でこの冊子の方が特段問題無いような話でいけば、冊子の方を議員さんに配っての説明になるかと思ったんですけど。

○荒井事務局長 議会の後の全協という事なので出来ればそういう風に持って行ければ良いですね。理想です。この冊子全て、全議員さんに配る。これ理想ですね。そういう予定で行きますか。

○澁谷事務局長 はい。

○荒井事務局長 全議員さんに配る、三組合の。そういう予定で行きましょう。

○小杉事務局長 すみません、衛生組合さんは10月の20日が全員協議会ですけれども、稲広さんはこれ当日。

○澁谷事務局長 これいつも全協やって無いんですよ。やって無いので議長と相談します。状況によっては定例会の前か後になるかもしれません。

○荒井事務局長 定例会の時間にもよるんでしょうけどね。うちの方も11日に管理者等会議やるんでそれで出来れば良いんですけども、ここで終わっちゃえば一番良いんですけども、また不足となればその定例会の後にちょっと時間頂いて報告なり説明なりするっていう事も可能なんです。

○澁谷事務局長 定例会の後になる可能性が大了。凡例的には。緊急では無いので、鴻巣議長に相談するしかないんですけども、これで行くべよとなるんだと思うんです。で理由として10月に議員研修の代わりに消防施設の視察が、管内の、10月にあるんで、それは任意なのでその前後にもう一回全協というのは多分議長、それはそこまでとなるんで11月16日の全協の後ですかね。違う定例会の後の全協説明に稲広はならざるを得ないかなと思います。

○小杉事務局長 うちも全協は無いので定例会の前、当日の前か後に。

○澁谷事務局長 うちもそうですね。

○小杉事務局長 議案に対しての全協がありそうだったら前ですけども。

○古手事務局次長 時間はどれくらい掛かるものですか、どの位の説明の時間を。

○荒井事務局長 できればやっぱり他の組合からも、全協への報告に対して冊子、新しい冊子も配る訳ですから、質疑も出る可能性高いと思いますよ。やはり2人位は出席して待機して。待機じゃなくて同席。

○小杉事務局長 同席。

○荒井事務局長 そういう事の約束でどうですか。

○澁谷事務局長 そうすると定例会後、あとがいいかな。首長に帰って貰って、前だと首長さんがね管理者以外はお時間もあれなんで。定例会2時に始まって終わったらお帰り頂いて、全協の準備してという方が良いかも。

○荒井事務局長 いろいろ意見今度は出るよね。

○澁谷事務局長 今度はね。はい。

○荒井事務局長 あと気になるのは市町村の動きですよ。うちの方でも議会関係何か情報入ったら三組合で共有していきたいと思います。宜しくお願いします。

特に龍ヶ崎は9月議会がどうなるかね。まあ前回も話しましたがけれども、だいぶ荒れる様な事を前は聞いてますからね、取り敢えず。後何かありますか。

○小杉事務局長 もう一つすみません。明日なんですけど午前中なんですけれどもごみ処理の広域化の件で県の方に訪問してきます。県の資源循環推進課に行って参ります。ご報告です。

○澁谷事務局長 お願いします。

○荒井事務局長 全国的なその動きとか国の施策とか、あとはそれを受けて県がどう考えているのかというのを、新しい情報を一番欲しい情報だと思います。宜しくお願い致します。

○小杉事務局長 以上です。

○澁谷事務局長 はい。

○荒井事務局長 あと無ければ以上で本日の会議終わりにしたいと思います。お疲れさまでした。